



P コマンド

この章では、P で始まる Cisco NX-OS ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) コマンドについて説明します。

preempt (HSRP)

プリエンブション遅延を設定するには、**preempt** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

preempt [**delay** {**minimum** *min-delay* | **reload** *rel-delay* | **sync** *sync-delay*}]

no preempt [**delay** {**minimum** *min-delay* | **reload** *rel-delay* | **sync** *sync-delay*}]

構文の説明

delay minimum <i>min-delay</i>	(任意) ルータがアクティブになる前にルーティング テーブルの更新が行われるよう、プリエンブションを遅らせる最小時間を秒数で指定します。デフォルト値は 0 です。
reload <i>rel-delay</i>	(任意) ルータのリロード後の遅延時間を指定します。この時間は、ルータ リロード後の最初のインターフェイス起動イベントにのみ適用されます。デフォルト値は 0 です。
sync <i>sync-delay</i>	(任意) IP 冗長性クライアントがプリエンブションを妨げることができる最小時間を秒数で指定します。この時間が経過すると、IP 冗長性クライアントの状態とは無関係にプリエンブションが発生します。デフォルト値は 0 です。

コマンドデフォルト

デフォルトの遅延時間はどのオプションも 0 秒です。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーションまたは HSRP テンプレート モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ルータがアクティブになる前にルーティング テーブルの更新が行われるよう、最小遅延時間を指定します。ルータが最初に起動したとき、ルータのルーティング テーブルは完全ではありません。高いプライオリティのルータが低いプライオリティのアクティブ ルータから **hello** パケットを最初に受信した場合、高いプライオリティのルータはプリエンブションを遅らせるだけです。高いプライオリティのルータが起動したときに、低いプライオリティのアクティブ ルータから **hello** パケットを受信しなかった場合、グループのアクティブ ルータが存在していないと見なされて、高いプライオリティのルータはただちにアクティブになります。

例

次に、プライオリティが 110 のルータがアクティブになるときの遅延を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 0/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.255.255.0
switch(config-if)# hsrp 4
switch(config-if-hsrp)# priority 110
switch(config-if-hsrp)# preempt
switch(config-if-hsrp)# authentication text sanjose
```

```
switch(config-if-hsrp) # ip 10.0.0.3  
switch(config-if-hsrp) # end
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature hsrp	HSRP の設定をイネーブルにします。
show hsrp	HSRP 情報を表示します。

priority (HSRP)

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループ内のプライオリティ レベルを設定するには、**priority** コマンドを使用します。プライオリティ レベルを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

priority level [**forwarding-threshold lower lower-value upper upper-value**]

no priority level [**forwarding-threshold lower lower-value upper upper-value**]

構文の説明

level	仮想ルータのインターフェイス プライオリティ。値の範囲は 1 ~ 255 です。このルータが IP アドレスのオーナーの場合は、自動的に 255 の値に設定されます。デフォルトは 100 です。
forwarding-threshold	(任意) 仮想ポート チャンネル (vPC) トランクへのフェールオーバーのタイミングを決定するために vPC で使用されるしきい値を設定します。
lower lower-value	(任意) 下限しきい値を設定します。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 1 です。
upper upper-value	(任意) 上限しきい値を設定します。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 255 です。

コマンド デフォルト

level: 100
lower-value: 1
upper-value: 255

コマンド モード

HSRP コンフィギュレーションまたは HSRP テンプレート モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

アクティブ ルータになる仮想ルータを制御するには、**priority** コマンドを使用します。HSRP は、HSRP グループ内の全仮想ルータのプライオリティを比較し、数値的に最も高いプライオリティを持つルータを選択します。2 つの仮想ルータのプライオリティが等しい場合、HSRP は最も高い IP アドレスを持つルータを選択します。

例

次に、仮想ルータをプライオリティ 254 に設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 0/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.255.255.0
switch(config-if)# hsrp 4
switch(config-if-hsrp)# priority 254
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature hsrp</code>	HSRP の設定をイネーブルにします。
<code>show hsrp</code>	HSRP 情報を表示します。

■ priority (HSRP)